

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ゆうわ・あいき	公表日	2025年11月1日
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0 和室の名前や敷居等で境界線を視覚化できるように努めています。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1 療育士の人数が少ない場合には子ども同士の衝突が起こらないように、空間を分けるなどの工夫をしています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	4 壁や障子はガラスがなく、衝突した際の怪我防止に努めています。壁や障子、敷居で活動場所も分かりやすくしています。動線には段差が一部あるものの、空間は敷居で区切り視覚的に分かりやすくしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0 害虫の発生がある為、害虫対策や掃除徹底を行っています。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1 お子様の様子に合わせて適したタイミングで場所を確保できるように努めています。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1 全員で協議する時間を設けています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2 頂いた評価は取りまとめてスタッフ全員で共有しております。収集結果につきましては、HP上に公開しているごとに加え、事業所内に掲示を行っています。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2 お子様への対応に対して共有し、意見を出す場を設け、支援のしり合わせを行っています。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3 現在、第三者評価は実施していません。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	3 虐待防止や防犯・防災、感染症対策等の法令に定められた研修に加え、療育研修を年間スケジュールに組み込み実施しております。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1 支援計画に基づき、プログラムを作成・実施し、HUGにより保護者様へのフィードバックを行っています。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3	3 HUGのアセスメントツールを使用し、お子様やご家庭の課題やニーズ、強みを十分に考慮しながら、チームで作成を行っています。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1 ケース会議を実施し関わる職員一同で支援について協議しながら作成しています。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1 支援計画に基づいたプログラムを提供しています。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2 HUGのアセスメントツールを使用しています。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1 作成時に職員で協議を行い、適切な内容となるよう留意しながら作成しています。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0 朝礼・昼礼にて引き継ぎを行い、都度立案や確認を行っています。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1 過去の記録から読み取り、現状把握、必要事項を抜粋し、重複しないように工夫して立案しています。

	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	お子様やご家庭の課題やニーズ、強みを十分に考慮しながら、チームで作成を行っています。	今後もご家庭のニーズを組み取り、必要に応じて適宜集団活動も提案し、計画に沿った支援ができるよう取り組んでまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	朝礼・昼礼時に漏れなく確認を行っています。	今後も綿密な打ち合わせを実施し、支援に活かしてまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	業務日誌の活用だけではなく、朝礼・終礼時に毎回振り返りを行っています。	今後も綿密な打ち合わせを実施し、支援に活かしてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	サービス提供記録や業務日誌等で記録をとり、支援の検証・改善に繋げています。保護者様からでたご要望は付箋等で共有・更新を行っています。	社内独自の手引き等を活用し、適宜記録の記入方法等を確認できるようにしてまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	2	6か月に1回を基本にしながら、チームでの協議を行っています。	より広く職員が参画できるよう、事前に計画を立ててモニタリングを実施してまいります。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	3	管理者・児発管・主任・療育長が代表して出席しています。	内容については事業所内で共有を行ってまいります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	必要に応じて情報交換やケース会議等実施しています。	内容については事業所内で共有を行ってまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2	保護者様や保育所などからのご要望にお応えし、保育所等訪問や意見交換の場の設定を実施しています。	より積極的な連携を図ります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2	必要に応じて情報交換やケース会議等実施しています。	より積極的な連携を図ります。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	4	2	必要に応じて情報交換やケース会議等実施しています。	内容については事業所内で共有を行ってまいります。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5	1	フィードバックの時間にご家庭でのご様子やスタジオでの様子を共有させていただいております。	引き続き、密にコミュニケーションが取れるように努めてまいります。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	3	プログラムとしての実施はありませんが、ご希望がある際には個別の対応をしています。	プログラムとしてのペアレントトレーニングは実施していないため、今後必要に応じて検討いたします。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	3	現在は交流の機会はありません。	今後必要に応じて、実施を検討いたします。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	1	管理者・児発管・主任・療育長が代表して出席しています。	内容については事業所内で共有を行ってまいります。
	33	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	フィードバックの時間にご家庭でのご様子やスタジオでの様子を共有させていただいています。	引き続き、密にコミュニケーションが取れるように努めてまいります。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	2	プログラムとしての実施はありませんが、ご希望がある際には個別の対応をしています。	プログラムとしてのペアレントトレーニングは実施していないため、今後必要に応じて検討いたします。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	契約時に一通りの説明を実施しています。	今後も丁寧な説明に努めます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	2	作成時・更新時に面談を実施しています。	今後も要望や意向の確認をしながら作成してまいります。
	37	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1	保護者様との面談を実施し、丁寧な説明を心がけています。	今後も丁寧な説明に努めます。
	38	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	2	療育後のフィードバック時や支援計画更新時の面談に加え、必要に応じて都度機会を設けています。	引き続き、保護者との信頼関係が構築できるように努めてまいります。
	39	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	2	ソーシャルワーカーを中心に、個別相談と年3回の親の会を実施しています。今後必要に応じて検討いたします。	引き続き、保護者との信頼関係が構築できるように努めてまいります。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	必要時には面談やヒアリングの機会を設けています。	相談や申し入れがあった場合は迅速かつ適切な対応に努めます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	2	HUGを利用しての発信やHPへの掲載や事業所内の掲示等により発信しています。	今後も情報発信の充実と周知に努めてまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に對して発信しているか。	5	1	個人情報が記載されているものは鍵がかかるところで施錠して対応しています。第三者に個人情報が渡らないよう、細心の注意を払っています。	今後も個人情報が記載された書類の取り扱いや、フィードバック時の距離など、十分に留意いたします。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	3	それぞれのお子様に適している方法について検討し、合理的配慮を念頭に置き、柔軟な対応に努めています。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	1	講師として地域の方を招聘してのイベントや毎月調理体験として地域の方の協力を得ています。	引き続き、地域との信頼関係が構築できるように努めています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	各マニュアルを完備しているとともに、年間スケジュールに訓練の実施が組み込まれています。	引き続き、訓練等の実施と内容の周知を行ってまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2	定期的に備品や対応方針について点検を行ふとともに、年間スケジュールに沿って訓練を実施しています。	引き続き、訓練等の実施と内容の周知を行ってまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	3	契約時に確認を行い、1年ごとに必要事項の確認・記載をお願いしております。	てんかん等の対応について職員間で周知できるようにしてまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	契約時や受け入れ時に都度情報共有を頂いています。	飲食のイベント等は、併せてアレルギーの有無を確認いたします。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	毎日の昼礼・終礼にてヒヤリハットを共有し、事故防止に努めています。	引き続き、安全に留意し支援を行ってまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	3	引き取り訓練等を実施し、非常時のご家族との連絡手段等についても共有を図っています。	引き続き、内容の周知を図ってまいります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	毎日終礼時には振り返りを行い、月ごとに事例をまとめています。	引き続き、安全に留意し支援を行ってまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	年間スケジュールに研修日程が組み込まれています。	引き続き関係機関との連携を図りつつ、定期的に研修を実施してまいります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1	対応マニュアルを完備し、契約時の説明、必要な際にはご家庭と合意形成を行っています。	今後必要な場合には十分に検討し、丁寧な説明を行うとともに身体拘束の適正化に努めます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。				